



DK VOICE 8

第43期第2四半期 VOL. 8

株主通信 2015年4月1日
2015年9月30日

The logo for 'DK VOICE 8' is displayed. 'DK' is in large blue letters, with the 'K' having a red and white diagonal stripe. 'VOICE' is in blue, and '8' is in white inside a green circle. Below the logo, the text '第43期第2四半期 VOL. 8' is shown. Underneath that, '株主通信' (Shareholder Communication) is written, followed by the dates '2015年4月1日' and '2015年9月30日'.

DK **ダイコク電機株式会社**

証券コード 6430

The logo for 'DK ダイコク電機株式会社' (DK Daikoku Denki Co., Ltd.) is shown. 'DK' is in blue and red, followed by the company name in Japanese. Below it, the stock code '証券コード 6430' is listed.

01 ご挨拶



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期の業績は、パチスロ遊技機の販売時期の変更などの影響で、遺憾ながら前年同期実績を下回る結果となりました。また、通期についても厳しい事業環境下ではありますが、今後の巻返しにより改善を図っていく所存です。

株主の皆さまには、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2015年12月

代表取締役社長 栢森 秀行

経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策等により企業収益や雇用情勢に改善傾向がみられましたが、中国経済の減速をはじめとした、海外景気の下振れ等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、下半期に予定されているパチンコ遊技機及びパチスロ遊技機の自主規制の実施により、パチンコ業界全体への多大な影響が懸念される状況となっております。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、情報公開機器[BiGMO PREMIUM]にて、表示コンテンツの強化を行うことで付加価値の向上を図りました。また、全国主要都市にて第1四半期に開催した展示会&セミナーの継続フォローを実施することで、CRユニット[VEGASIA]及び情報公開機器の販売を推進いたしました。

制御システム事業におきましては、業績の向上を目指し新製品の開発及び提案に取り組むとともに、遊技機の稼動貢献をテーマに体制強化を図りました。また、自主規制に伴う仕様変更により、開発・販売スケジュールの見直しを実施いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高242億25百万円(前年同期比13.1%減)、営業利益8億15百万円(同62.4%減)、経常利益9億5百万円(同59.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億21百万円(同71.4%減)となりました。

財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、当第3四半期以降において販売予定のたな卸資産の増加や、春日井事業所の物流拠点における設備の充実に伴う固定資産の増加がありましたが、未払金の決済や納税及び配当金等の支払による現金及び預金が大きく減少したことや、前連結会計年度の下半期に比べ当第2四半期累計会計期間の売上高が低調に推移したことによる売上債権の減少などにより、前連結会計年度末に比べ24億35百万円減少の510億92百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度の3月度に比べ当第2四半期の9月度における研究開発費に関する未払金の減少や、未払法人税等の減少及び長期借入金の返済などにより、前連結会計年度末に比べ19億64百万円減少の194億24百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上額より配当金の支払が上回ったことにより、前連結会計年度末に比べ4億71百万円減少の316億67百万円となり、自己資本比率は62.0%(前連結会計年度末比2.0ポイント上昇)となりました。

2015年10月26日に業績予想を修正いたしました。
 この結果、連結売上高530億円（前期比1.9%減）、
 連結営業利益10億円（同29.8%減）、連結経常利益10
 億円（同36.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利
 益5.5億円（同37.1%減）を見込んでおります。

●通期予想及び第2四半期連結累計期間における業績進捗率（単位：百万円）

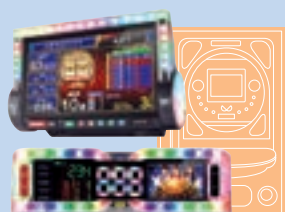
| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 |
|-------------|---------------|--------------|--------------|-----------------|
| 第2四半期連結累計期間 | 24,225 | 815 | 905 | 421 |
| 通期予想 | 53,000 | 1,000 | 1,000 | 550 |
| 進捗率(%) | 45.7 | 81.5 | 90.5 | 76.5 |

本冊子に記載されている市場予測や業績見通しは、当社の経営陣が現在有効な情報に基づき判断したもので、その実現には潜在リスクや不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。したがって、諸要因の変化により実際の業績は記載事項と大きく異なる結果となる可能性があることをあらかじめご承知おきください。

セグメント別の状況

当第2四半期の営業概況

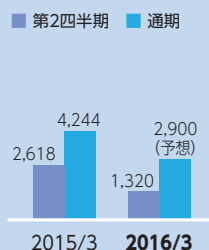
情報システム事業



売上高
16,089 百万円



セグメント利益
1,320 百万円



当事業の第2四半期連結累計期間は、CRユニット「VEGASIA」にて、トータルコンピューティングシステムのメリットが高評価を得るなど、製品販売は堅調に推移しましたが、当事業の最高売上高を記録した前年同期には及びませんでした。また、費用面におきましては、次世代製品開発への積極投資による研究開発費が大幅に増加いたしました。

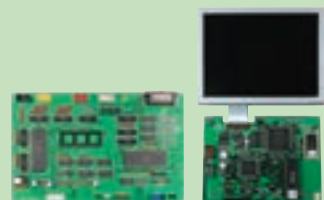
この結果、当事業の売上高は160億89百万円（前年同期比11.7%減）、セグメント利益は13億20百万円（同49.6%減）となりました。

対処すべき課題と通期の見通し

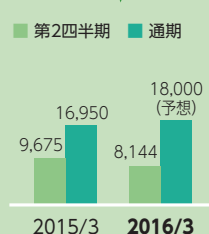
売上高 35,000 百万円
 セグメント利益 2,900 百万円

引き続きCRユニット「VEGASIA」の拡販に努めるとともに、ファンに楽しく遊技していただくために、情報公開機器の機能を向上させ、パチンコホールの集客ツールとして拡販していきます。さらに、新たな手法として次世代データ管理「C II FACE」の提案を強化します。また、将来ビジネスモデル構築のため、次世代製品開発への積極投資を継続します。

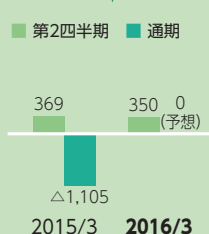
制御システム事業



売上高
8,144 百万円



セグメント利益
350 百万円



当事業の第2四半期連結累計期間は、パチンコ遊技機にて、第2四半期に販売を予定しておりました2機種のうち1機種が下半期へずれ込み、1機種が来期以降へずれ込む見込みとなりましたが、パチンコ関連部品の販売は好調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は81億44百万円（前年同期比15.8%減）、セグメント利益3億50百万円（同5.3%減）となりました。

売上高 18,000 百万円
 セグメント利益 0 百万円

パチンコ遊技機の販売機種数の増加により、売上高は180億円（前期比6.1%増）を見込んでおります。また、引き続き「稼動貢献を目指した機種開発」に取り組むとともに、人材補強やプロジェクト管理体制の変更を実施することにより開発体制の強化に努め、市場評価を高めてまいります。

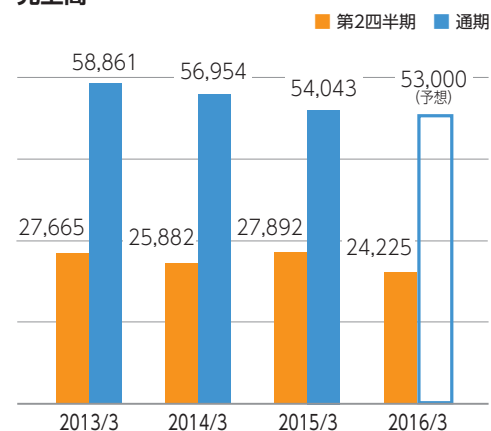
03 財務データ

第2四半期連結損益計算書(要旨)

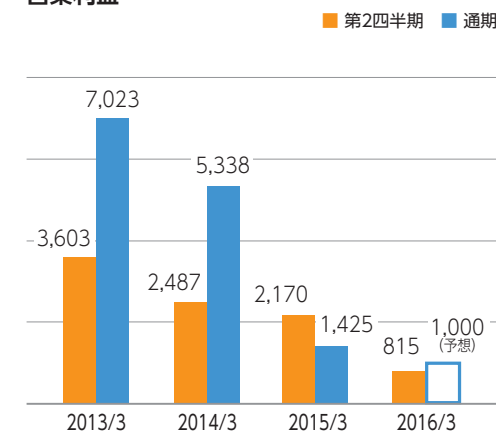
| 科目 | 当第2四半期 2015年4月1日から 2015年9月30日まで | 前第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで | 前期 2014年4月1日から 2015年3月31日まで |
|----------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 売上高 | 24,225 | 27,892 | 54,043 |
| 売上原価 | 16,267 | 19,353 | 38,407 |
| 売上総利益 | 7,957 | 8,539 | 15,635 |
| 延払販売未実現利益戻入 | 9 | 11 | 23 |
| 差引売上総利益 | 7,966 | 8,551 | 15,659 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,150 | 6,380 | 14,233 |
| 営業利益 | 815 | 2,170 | 1,425 |
| 営業外収益 | 116 | 102 | 212 |
| 営業外費用 | 26 | 37 | 71 |
| 経常利益 | 905 | 2,235 | 1,566 |
| 特別利益 | 1 | - | - |
| 特別損失 | 25 | 2 | 14 |
| 税金等調整前四半期(当期)純利益 | 881 | 2,233 | 1,552 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 46 | 414 | 1,111 |
| 法人税等調整額 | 413 | 345 | △434 |
| 四半期(当期)純利益 | 421 | 1,472 | 874 |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 | 421 | 1,472 | 874 |

(単位：百万円、単位未満は切捨て)

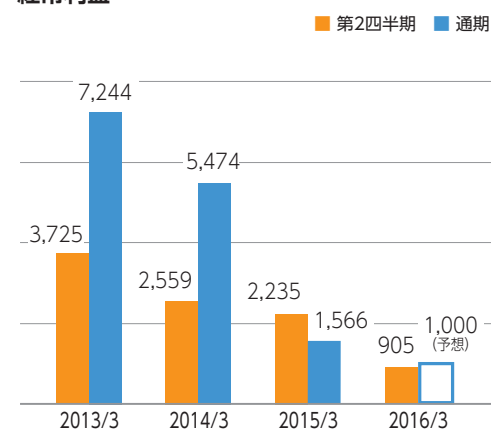
売上高



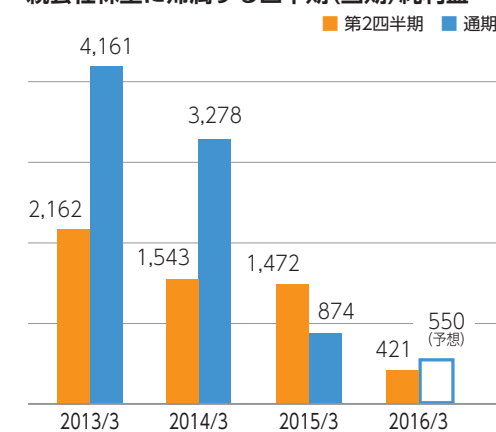
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

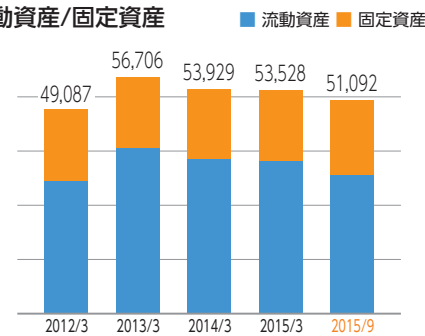


(単位：百万円、単位未満は切捨て)

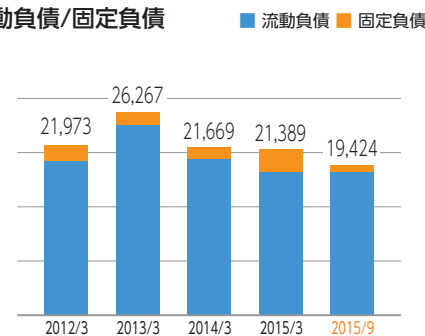
第2四半期連結貸借対照表(要旨)

| 科目 | 当第2四半期末 2015年9月30日現在 | 前第2四半期末 2014年9月30日現在 | 前期末 2015年3月31日現在 |
|--------------|-------------------------|-------------------------|---------------------|
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | 33,224 | 36,563 | 35,935 |
| 固定資産 | 17,867 | 15,982 | 17,592 |
| 有形固定資産 | 10,288 | 9,278 | 10,030 |
| 無形固定資産 | 2,263 | 1,608 | 2,160 |
| 投資その他の資産 | 5,315 | 5,095 | 5,401 |
| 資産合計 | 51,092 | 52,545 | 53,528 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 18,513 | 18,430 | 20,473 |
| 固定負債 | 911 | 1,183 | 915 |
| 負債合計 | 19,424 | 19,613 | 21,389 |
| 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | 31,806 | 33,017 | 32,271 |
| 資本金 | 674 | 674 | 674 |
| 資本剰余金 | 680 | 680 | 680 |
| 利益剰余金 | 30,453 | 31,664 | 30,918 |
| 自己株式 | △1 | △1 | △1 |
| その他の包括利益累計額 | △139 | △85 | △133 |
| 純資産合計 | 31,667 | 32,932 | 32,138 |
| 負債純資産合計 | 51,092 | 52,545 | 53,528 |

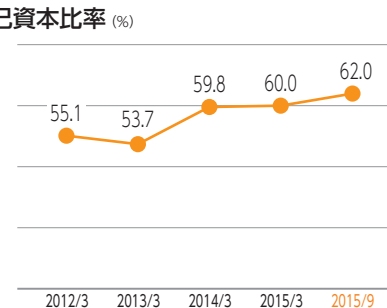
流動資産/固定資産



流動負債/固定負債



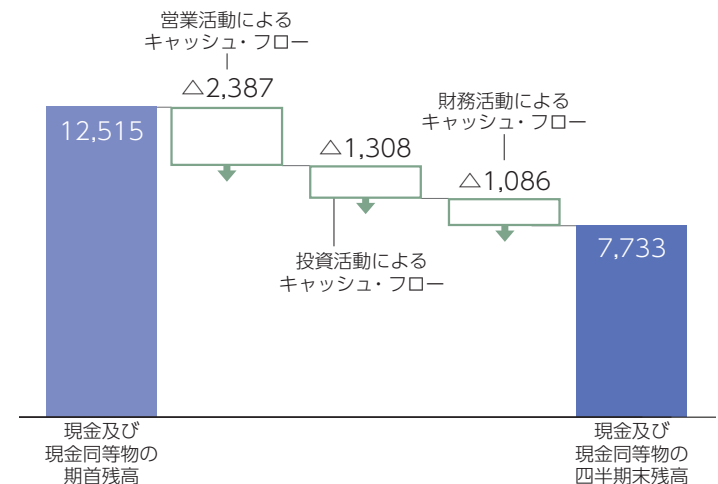
自己資本比率(%)



第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

| 科目 | 当第2四半期 2015年4月1日から 2015年9月30日まで | 前第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで | 前期 2014年4月1日から 2015年3月31日まで |
|--------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | △2,387 | △227 | 817 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △1,308 | △991 | △2,142 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △1,086 | △1,086 | △1,441 |
| 現金及び現金同等物の 増減額(△は減少) | △4,781 | △2,305 | △2,766 |
| 現金及び現金同等物の 期首残高 | 12,515 | 15,281 | 15,281 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 | 7,733 | 12,975 | 12,515 |

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要



05

トピックス

新製品の発表、展示会やセミナーの開催など ダイコク電機の「今」をお伝えします。

NOW DK-SISセミナー

今回は「TO SERVIVE～混迷期の今この時、未来へつなぐ施策とは～」とタイトルを掲げ、業績の低迷が続く業界に対して大きく3つの提案を行いました。

1つ目は、貸し玉料金引上げ実施店の業績変化について解説しました。全体的にアウトは低下、粗利は微増という傾向であったため、粗利の確保が目的ならば成功と見ることができます。しかしながら、業界全体



における最重要課題である賑わい感の改善とは逆行しているため、想定どおりの結果かどうかを精査する必要性を説き、安易な貸し玉料金の引上げに対する警鐘を鳴らしました。

2つ目は、パチンコの内規及びパチスロの試験方法変更がもたらす影響を解説しました。パチンコについては、大当たり確率の下限値 引上げの影響が非常に大きいため、売上が上がりにくくなる可能性といったデメリットと、投資金額の抑制による大当たり体験率の上昇というメリットの両面を解説しました。パチスロについては、試験方法の変更により出玉性能が抑制されていくなか、新機種選定のポイントや店舗全体の業績向上の施策を取上げました。

3つ目は、ファン1人当たりが遊技する機種数を増やす施策が、アウトの向上に効果的であると提唱しました。獲得した玉を他の機種でも再遊技しやすい環境を作ることによってファンの滞留時間向上と賑わい感の増加につなげ、顔認証データ管理の「C II FACE」で検証することで、更に効率的な運用になると提案しております。

今後登場する機種が不透明という状況もあって、どの会場も定員数を大きく上回りました。真剣に聴講されている姿勢を見て、ダイコク電機及びDK-SISへの期待感を再認識できましたので、今後も時々のニーズに合った様々な提案を行っていききたいと思っております。

NOW DK-SIS白書2014発刊

このたび当社は創刊第12冊目となる「DK-SIS白書2014」を発刊いたしました。本書は、市場シェアの約30%にあたる138万台分もの膨大なホールの営業データを日々集計・分析し、1年分の情報を集約したものです。

本書では、長引く業績の低迷からなかなか脱け出せない現状では、ファン1人当たりの負担を少しずつでも改善させながら、遊技機の活用だけでなく遊技空間としての不満要素も、継続的に排除していくべきであると提言しております。

市場の動きとして、パチンコは出玉性能が高い遊技機の販売比率が増加し、設置状況でもそれらの遊技機にバランスが偏り、業績の低下に歯止めがかからない状況となっています。一方、昨年まで好調だったパチスロも同様に業績は下落傾向となっており、新機種導入に際しても導入台数や活用を見直す必要があります。いずれにせよ、何がファンの想定と乖離しているのかを見極めて改善していくことが最重要事項であると考えております。

今後、パチンコもパチスロも遊技機の仕様は規制とともに変化していきます。その変化に対応するツールとして、DK-SISならびに本書がホール経営企業の皆さまの一助となることを願っております。



NOW 「パチロボ」をパワーアップ

2015年1月にリリースいたしましたファン向けパチンコ情報アプリ「パチロボ」を、パチンコ・パチスロがもっと楽しくなるようバージョンアップいたしました。

これにより、利用者数、利用回数が大幅に増加しました。今後も新たなコンテンツ、サービスを計画しており、更なる利用者増加に努めてまいります。

① 全国大当たり情報



ファンの熱い要望に応え、業界最大となる2,000店舗の「大当たり情報」が確認できるようになりました。

② みんなの遊技広場



自分の遊技体験を投稿して全国のファンと盛り上げる「遊技広場」を一刷新し、投稿しやすく、見やすくしました。



NOW 番組収録サービス

「番組収録サービス」はコンシューマ向け放送サービス「パチ・スロ サイトセブンTV」と情報システム事業が連携した、パチンコホールに喜んでいただけるロイヤリティサービスです。

台毎液晶端末「BIGMO PREMIUM」を導入いただいているパチンコホールにオリジナル番組の収録を無償提供し、集客の演出として活用いただけるものです。

収録された番組はスカパー！／ひかりTVで絶賛放映中の「パチ・スロ サイトセブンTV」で放送され8万世帯、またYouTubeにて同チャンネルの登録者約10万人に届けられており、パチンコホールのPRに貢献しております。

実施させていただきましました多くのお客さまから高い評価をいただき、昨年10月の開始以来50店舗以上のパチンコホールにご利用いただいております。

今後も引き続き、パチンコホールの集客の一助となるよう邁進してまいります。



会社概要

商号 ダイコク電機株式会社
DAIKOKU DENKI CO., LTD.
創業 1964年12月
設立 1973年 7月
資本金 6億7千4百万円
(発行済株式総数14,783,900株)
本社 名古屋市中村区那古野一丁目43番5号
従業員数 (単独)462名 (連結)639名
事業内容 パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売
パチンコ遊技機用ユニット・パチスロ遊技機の開発・製造・販売
決算期 3月31日
事業所 4事業所、4支店、13営業所
関係会社 元気株式会社、DAXEL株式会社

役員

| | |
|---------|-----------|
| 代表取締役会長 | 栢 森 雅 勝 |
| 代表取締役社長 | 栢 森 秀 行 |
| 代表取締役専務 | 栢 森 健 |
| 常務取締役 | 根 本 弘 |
| 常務取締役 | 佐 藤 信 悟 |
| 取締役 | 大 上 誠 一 郎 |
| 取締役 | 栢 森 啓 |
| 取締役 | 國 保 徳 丸 |
| 取締役 | 武 田 邦 彦 |
| 取締役 | 足 立 芳 寛 |
| 常勤監査役 | 伊 東 幹 夫 |
| 監査役 | 村 橋 泰 志 |
| 監査役 | 田 島 和 憲 |
| 監査役 | 知 念 良 博 |

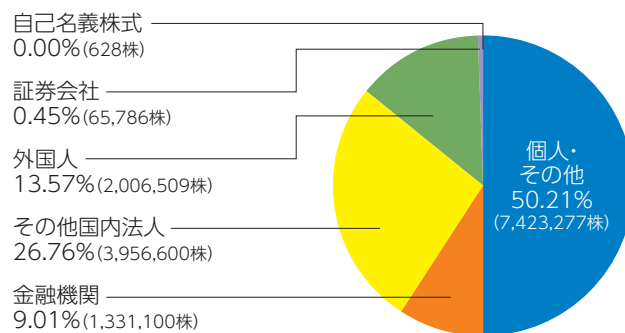
(注) 1.取締役 國保徳丸氏、武田邦彦氏、足立芳寛氏は社外取締役であります。
2.監査役 村橋泰志氏、田島和憲氏、知念良博氏は社外監査役であります。

株式の状況

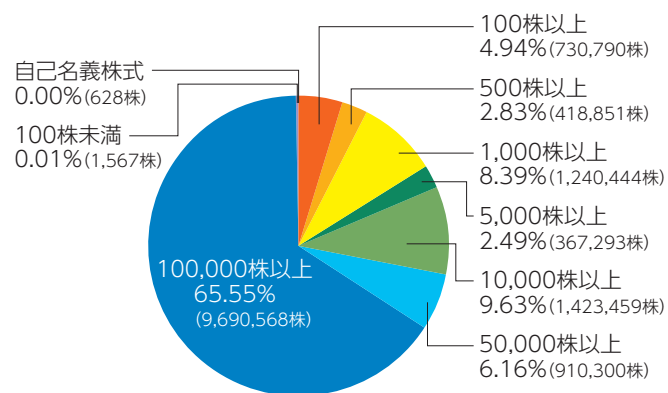
発行可能株式総数 66,747,000 株
発行済株式総数 14,783,900 株
株主数 7,180 名

株式分布状況

所有者別



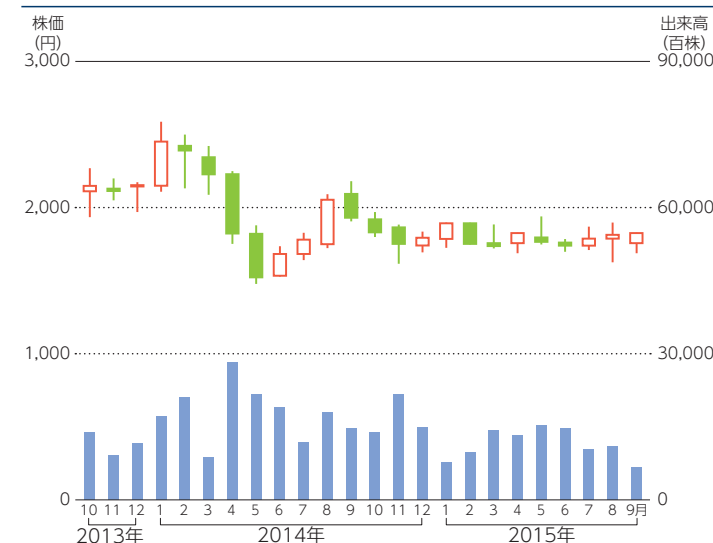
所有株数別



大株主

| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|----------------------------|-----------|---------|
| 栢森 健 | 1,772,200 | 11.98 |
| 栢森 雅勝 | 1,064,350 | 7.19 |
| 栢森 秀行 | 961,000 | 6.50 |
| 栢森 美智子 | 926,000 | 6.26 |
| 栢森 寿恵 | 887,000 | 5.99 |
| 栢森 和代 | 766,000 | 5.18 |
| 公益財団法人栢森情報科学振興財団 | 750,000 | 5.07 |
| 栢森 新治 | 443,450 | 2.99 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) | 334,400 | 2.26 |
| ダイコク電機従業員持株会 | 238,750 | 1.61 |

株価及び出来高の推移



株主の皆さまへのお知らせ

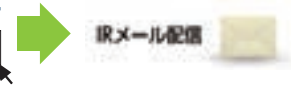
■ 電子メールによる当社IR情報の配信

当社は、投資家の皆さまへ電子メールによるIR情報配信サービスを提供しております。ご登録いただいた皆さまには当社ホームページ(<http://www.daikoku.co.jp>)に新しい情報が掲載されたことのお知らせします。IR情報配信サービスをご希望の方は、当社ホームページにアクセスした後、「IRメール配信」ボタンから、簡単にご登録いただけます(無料)。

www.daikoku.co.jp/ir

ダイコク電機 IR

検索



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日

定時株主総会 6月下旬

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

一単元の株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685
名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063
電話照会先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告によります。ただし、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告のホームページアドレス <http://www.daikoku.co.jp>

配当金受取方法等について

「配当金計算書」について

配当金支払の際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。

*確定申告をなされる株主さまは、大切に保管ください。

株主さまのご住所・お名前に関する文字についてのご案内

株券電子化実施にともない、株主さまのご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部又は一部をほふりが指定した文字又はカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主さまにご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主さまのご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

株券電子化後の配当金受取方法のお取扱い

株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主さまの保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社の口座でも配当金のお受取りが可能となりました。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問い合わせください。

株主優待のご案内

■ 対象となる株主さま

毎年9月末日現在の当社株主名簿に記載又は記録された100株以上保有の株主さま

■ 優待内容及び贈呈時期について

対象となる株主さまへ保有株式数、保有年数に応じたポイント(1ポイント1円相当)を毎年10月下旬に贈呈いたします。そのポイントを株主さま限定のウェブサイト「ダイコク電機プレミアム優待倶楽部」において、約400種類の厳選された優待商品の中からお好きな商品(食品、ワイン、電化製品、当社オリジナルグッズ等)に交換できます。また、社会貢献活動への寄付もお選びいただけます。

■ 保有株式数と贈呈ポイント数

| 保有株式数 | 贈呈ポイント数 | |
|----------|------------|------------|
| | 初年度 | 2年以上保有 ※ |
| 100~299株 | 3,000ポイント | 3,300ポイント |
| 300~499株 | 6,000ポイント | 6,600ポイント |
| 500~699株 | 12,000ポイント | 13,200ポイント |
| 700~999株 | 15,000ポイント | 16,500ポイント |
| 1,000株以上 | 20,000ポイント | 22,000ポイント |

※2年以上保有(9月末日現在の株主名簿に同一の株主番号で連続2回以上記載されること)

■ ポイント繰越有効期限について

ポイントの繰越有効期限は2年です。繰越したポイントを次年度に使用する場合は、同一の株主番号で当社株式を継続保有していただく必要があります。

※全株式を売却もしくは名義変更された場合、権利確定日において繰越されたすべてのポイントは無効となります。

■ 株式保有期間について

2015年より毎年9月末日の権利確定日ごとに保有期間1年とみなし、カウントいたします。保有期間は株主番号で管理いたしますので、同一の株主番号で継続保有していただく必要があります。

■ お申込み方法について

株主さま宛てに毎年10月末に発送するハガキをご参照ください。

DK **ダイコク電機株式会社**

〒450-8640 名古屋市中村区那古野一丁目43番5号

TEL(052)581-7111(代表)

ホームページ <http://www.daikoku.co.jp>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。